見 本

会社員の場合は「ア.被用者」
無職の場合は「ウ.被用者等でない者」に○がしてあります。
違う場合は二重線で訂正をして、正しいものに○をしてください。

配偶者の有無について、どちらかに必ず○をつけてください。

令和8年(2026年)1月1日の住所が現在の住所と異なる場合は、住所を記入してください。

配偶者がいる場合は、必ず配偶者の情報を記入してください。

令和8年(2026年)1月1日の住所が現在の住所と異なる場合は、住所を記入してください。

配偶者の職業について、
該当番号に○をしてください。
配偶者が公務員の方は勤務先を必ず記入してください。

児童の続柄、生年月日、監護・監護相当の有無、生計関係・生計費負担の有無、同居・別居の別、欄を正しく記入してください。
※監護、生計についての説明は下記を参照してください。

児童と別居の場合は児童の住所を記入してください。海外留学の場合、出国した年月を記入してください。

氏名が記載されていない児童がいる場合は、**別途手続きが必要**です。
出生などにより養育する児童が増えた場合は、**至急、増額申請**をしてください。
すでに増額申請をしている方は増額した児童の氏名を追記の上「申請済」と記入してください。

⑬所得の状況は
記入不要です。

受給者が加入している年金に○をしてください。
国家公務員共済、地方公務員等共済（公立学校共済を含む）の場合は、
⑫の枠の空欄に**勤務先名称**を必ず記入してください。

※監護とは
児童の生活について社会通念上必要とされる監督・保護を行っている（面倒をみている）こと。監護・監護相当が無の場合は、児童手当上対象外児童になります。
※生計とは
児童の生活費の負担をしていること。児童手当上対象児童が受給者自身の子どもである場合は「同一」になります。生計関係・生計費負担が無の場合は、児童手当上対象外児童になります。